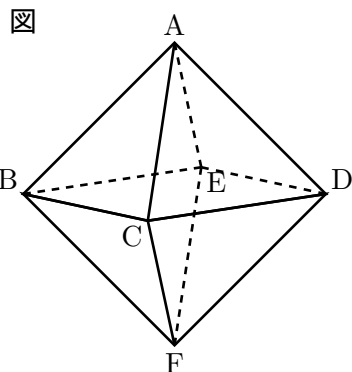


こうすれば正八面体を 3D 表現できます。psZahyou\*



```

\begin{psZahyou*}[ul=20mm,borderwidth=1pt,Ex=r{(1,0)},%
Ey=r{(0.25,45)},Ez=r{(1,90)}](-1,1)(-1,1)(-1,1)
\iiiPut{(-1,0,1)}[n]{\boxtimes}
\iiitenretu{A(0,0,1)n;B(-1,0,0)nw;C(0,-1,0)sw;%
D(1,0,0)se;E(0,1,0)se;F(0,0,-1)s}
\iiiTakakkei{\A\B\C\D}
\iiiTakakkei{\B\F\D\C}
\iiiDrawlines{\A\C\F}
\iiiHasens{\A\E\B;\D\E\F}
\end{psZahyou*}

```

パッケージで、`\usepackage [Pk]{emathPs}` としてあげましょう。  
 基本的には扱う座標が 3 次元になっただけで、基本は 2 次元だと思っています。ただ、見た目が良いように持ってくるのは、慣れてないせいもあり、苦手です。Ex,Ey,Ez をいじって見た目がよい配置にしてください。Ez は基本的にはいじらなくていいと思います。僕のサイトでは、最初のころ手抜きしてますので、psZahyou 環境で立体作成は行っていませんでした。見た目の都合うまく調整できないからです。今回の調整方法は、emath Wiki 多面体を参照しました。これを機に今は psZahyou でつくっています。最近 psZahyou にはまっています。面白いですよ。